

グループ活動紹介

関西品質工学研究会 (KQERG) の活動

関西品質工学研究会 会長
太田 勝之

Group
Activities

1. はじめに

「関西」を拠点とする地方研究会ではあるが、「関西」とどまらない活動を心がけて運営している。会員数も発足当初の14名から、今や60名を超え、遠方から参加の会員も少なくない。品質工学の事例適用だけでなく、従来SN比の多くの問題点を解決する「エネルギー比型SN比」を提案するなど、理論面の研究や提案も活発である。

2. 設 立

原和彦氏（当時松下電工）の呼びかけにより、1994年1月15日に計量研究所大阪システムセンターにて、第1回研究会を開催。当日集まった14人が発起人となり、原和彦会長、田中健一副会長（大阪計測システムセンター所長）として設立された。

3. これまでの活動

研究会発足から現在までの活動を以下に記す。

- 1993年 発足準備委員会開催
- 1994年 1月15日発足 会長 原和彦
田口博士を年4回招聘（2006年まで）
- 2002年 第1回関西地区品質工学シンポジウム
（滋賀・京都・関西の3研究会合同による開催）
- 2002年 10周年記念誌作成
- 2003年 芝野広志 会長就任
- 2007年 15周年記念講演会開催
- 2008年 「エネルギー比型SN比」提案
- 2009年 「品質工学ってなんやねん？」発刊

2011年 太田勝之 会長就任

2016年10月3日（金）京都、滋賀、中部、関西4研究会合同「品質工学シンポジウム」を大阪にて開催予定。

4. 会 員

会員数は62名（2016年6月現在）、所属企業や法人は44団体にのぼる。新入会員も一定割合があり、長期継続会員とのバランスの良い会員構成（図1）となっている。

参加各社での普及促進のため、法人会員は品質工学に興味ある社員を気軽に連れて来られるように規約改正した。そのため会員数は減ったが、実参加者数（特に新規参加者）は増えている。（図2）他に、

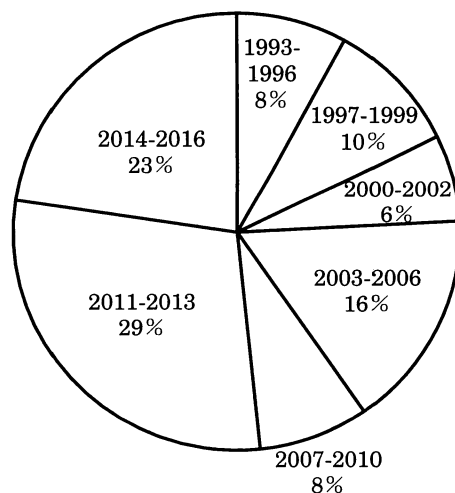


図1 会員構成（入会年別）